

GRATINA 2

グラティナー2

USBドライバインストールマニュアル

- 本書内で使用されている表示画面は説明用に作成されたものです。
- OS のバージョンやお使いのパソコンの環境、セキュリティ設定によっては表示画面の有無、詳細内容、名称が異なる場合があります。
- 本書は、お客様が Windows の基本操作に習熟していることを前提にしています。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書および本ソフトウェア使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

Microsoft®、Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。また、本書に記載の製品名等の固有名詞および機能名称等は、それぞれ各社が商標または登録商標として使用している場合があります。とくに本文中では、®マーク、™マークは明記していません。

● はじめに

本書は、「GRATINA2」とパソコンを指定の USB ケーブル（別売）を使用して接続し、インターネット通信や au ホームページで公開している各種ツールをご利用になるための「USB ドライバ」のインストール方法を説明しています。

- USB ドライバをインストールする 3
- パソコンに接続する 4
- 接続状態を確認する 5
- USB ドライバをアンインストールする 7
- USB ドライバを再インストールする 8
- コマンドリファレンス 9

■本製品の使用環境は以下のとおりです。（2015 年 1 月現在）

OS	Windows Vista 32bit 版／64bit 版、Windows 7 32bit 版／64bit 版、Windows 8／8.1 32bit 版／64bit 版の各日本語版がプリインストールされているパソコン（アップグレードされた場合は動作保証いたしません） ※上記対応 OS およびパソコンであっても、そのすべての環境での動作を保証するものではありません。
USB ポート	USB1.1 以上
ハードディスク	10MB 以上の空き容量

■インストール／アンインストールする場合は、Administrator（管理者）権限のあるユーザーアカウント（利用者資格）で作業をしてください。詳しくは Windows のヘルプを参照してください。なお、ユーザーアカウントは、以下の手順でご確認いただけます。

Windows Vista Windows 7	[スタート]→[コントロールパネル]→[ユーザーアカウントと家族のための安全設定]→[ユーザーアカウント]
Windows 8 Windows 8.1	スタート画面で右クリックし、画面右下の[すべてのアプリ]→[コントロールパネル]→[ユーザーアカウントとファミリーセーフティ]→[ユーザーアカウント]

● USB ドライバをインストールする

- ・インストールが完了するまで GRATINA2 をパソコンに接続しないでください。
※ インストール完了前に接続すると、GRATINA2 がパソコンに正しく認識されません。インストール完了前に接続された場合には、「USB ドライバを再インストールする」(8 ページ)を行ってください。
- ・ Administrator (管理者) 権限のあるユーザーアカウントでログインしてください。
- ・ Windows で起動中のアプリケーションを終了してください。

※ Web サイトより USB ドライバインストールファイル「GRATINA_setup_x.x.x.exe」(x はバージョンを示します)を任意の場所(デスクトップなど分かりやすい場所)にダウンロードして保存してください。なお、説明用の画面は Windows 8 の 32bit 版のパソコンのものです。

1. 任意の場所に保存した USB ドライバインストールファイルをダブルクリックします。

2. インストール画面が表示されたら内容を確認し [次へ] をクリックします。



3. GRATINA2 とパソコンが接続されていないことを確認後、[OK] をクリックします。

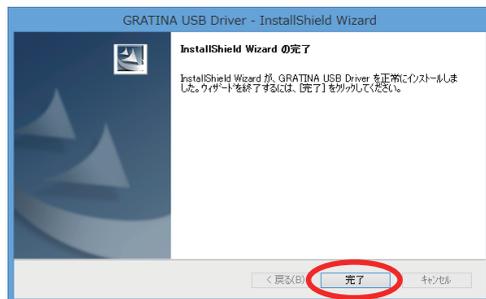


4. ソフトウェア使用許諾契約書をお読みいただき「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、[次へ] をクリックします。

インストール処理中の画面が表示されます。しばらくお待ちください。



5. 右の画面が表示されましたら、USB ドライバのインストールが完了です。[完了]をクリックします。
引き続き下記の「パソコンに接続する」を行ってください。



● パソコンに接続する

- ・ 先にインストールが完了していることを確認してください。
※ インストール完了前に接続すると、GRATINA2 がパソコンに正しく認識されません。インストール完了前に接続された場合には、「USB ドライバを再インストールする」(8 ページ)を行ってください。
- ・ パソコンの再起動を要求するメッセージが表示された場合は、メッセージに従い再起動させてください。

1. USB ケーブル (別売) をパソコンに接続します。
2. GRATINA2 の電源を入れ、待受画面が表示されたあと、USB ケーブルを GRATINA2 に接続します。
3. GRATINA2 に USB 通信モード選択画面が表示されます。「データ通信モード」または「外部メモリ転送モード」を用途に合わせて選択します。「外部メモリ転送モード」を選択する場合は先に microSD メモリカードをセットしてください。

● 接続状態を確認する

パソコンが「USB ドライバ」を正常に認識しているか、USB 接続中は以下の手順で確認できます。

■ 高速転送モードを選択した場合

1. コントロールパネルを開きます。

● Windows 7、Windows 8 の場合

[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]の順にクリックします。

● Windows Vista の場合

[コントロールパネル]→[システムとメンテナンス]の順にクリックします。



2. デバイスマネージャーを開きます。

● Windows 7、Windows 8 の場合

[デバイスマネージャー]をクリックします。

● Windows Vista の場合

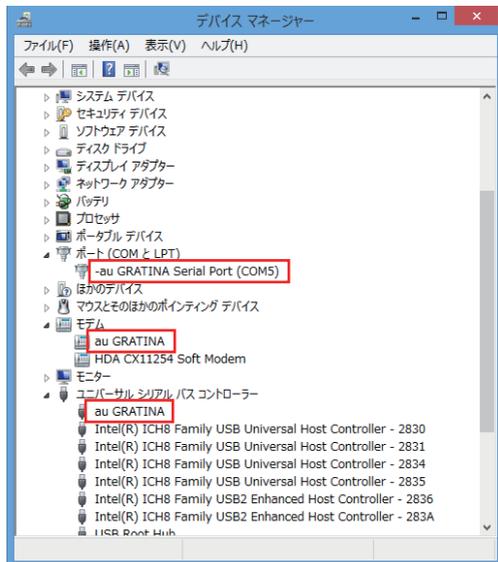
[デバイスマネージャ]をクリックします。警告画面が表示されますので、[続行]をクリックします。



3. インストール後、デバイスマネージャー上に右のように認識・表示されています。

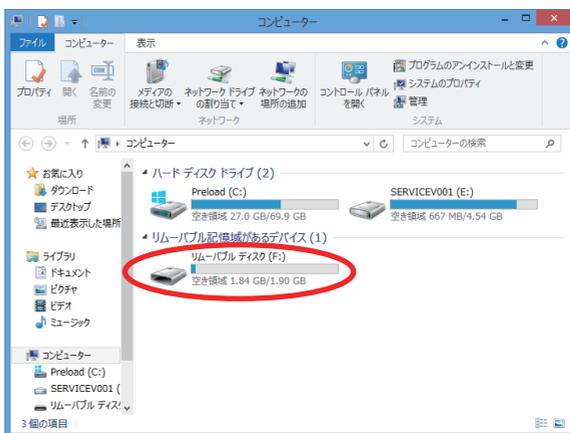
- “ポート (COM と LPT)” を展開して “au GRATINA Serial Port” が表示される。
- “モデム” を展開して “au GRATINA” が表示される。
- “ユニバーサル シリアル バス コントローラー” (Windows Vista の場合は、“ユニバーサル シリアル バス コントローラ”) を展開して “au GRATINA” が表示される。

- ※ デバイスマネージャーで表示されない場合や “?” マークが表示されている場合には、USB ドライバの再インストール (8 ページ) を実行してください。
- ※ デバイスマネージャーの上部メニューの [表示] 設定を [デバイス (種類別)] にしてください。
- ※ COM の番号はパソコンの環境によって異なります。



■ 外部メモリ転送モードを選択した場合

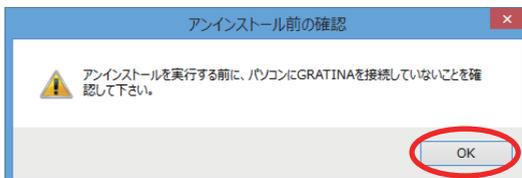
1. パソコンの “コンピューター” (Windows Vista の場合は “コンピューター”) を開きます。microSD メモリカードのドライブが「リムーバブル ディスク」として表示されることを確認してください。



3. 内容を確認して [はい] をクリックします。



4. パソコンに GRATINA2 が接続されていないことを確認し [OK] をクリックします。
アンインストール処理中の画面が表示されます。しばらくお待ちください。



5. [完了] をクリックしてパソコンを再起動します。



● USB ドライバを再インストールする

USB ドライバが正常にインストールできない場合や、USB ドライバならびに GRATINA2 が正常に認識されていない場合は、7 ページ「USB ドライバをアンインストールする」の手順で一度 USB ドライバをアンインストール、パソコンを再起動してから、再度 3 ページ「USB ドライバをインストールする」を行ってください。

- Administrator (管理者) 権限のあるユーザーアカウントでログインしてください。
- 編集中のファイルや他のソフトウェアを開いているものがありましたら、あらかじめデータを保存し、終了しておいてください。
- GRATINA2 をパソコンに接続しないでください。

● コマンドリファレンス

■ AT コマンド

AT コマンドの入力方法

AT コマンドは、“AT” に続いて “コマンド” と “パラメータ” を入力する。
(例) AT E1 (コマンドエコーをありに設定する)

コマンド	機能	説明 (* は初期値)
A/	コマンドの再実行	直前の AT コマンドを再度実行する
ATD	ダイヤル	オフフックし電話番号をダイヤルする
ATEn		コマンドエコー有無の設定 n=0 コマンドエコーしない n=1* コマンドエコーする
ATP	パルスダイヤル選択	パルスダイヤルを選択
ATQn	リザルトコードの制御	n=0* リザルトコードを返す n=1 リザルトコードを返さない
ATVn	リザルトコードの選択	n=0 数字形式 n=1* 文字形式
ATZ	ソフトウェアリセット	工場出荷状態に初期化する
AT&Cn	CF (DCD) 信号の制御	n=0 常時 ON n=1* 相手モデムのキャリアを検出したとき ON
AT&Dn	CD (DTR) 信号の制御	n=0 CD 信号を無視して、常時 ON とみなす n=1 CD 信号 OFF によりオンラインコマンド状態へ移行 n=2* CD 信号 OFF により回線を切断しオフラインコマンド状態へ移行
AT&F	工場出荷時設定への初期化	各種コマンドのパラメータ値や S レジスタの内容を工場出荷時に戻す

■ S レジスタ

S レジスタの設定方法

“AT” に続いて “Sn = X” を入力する。(n: レジスタ番号、X: 設定値)

S レジスタ参照方法

“AT” に続いて “Sn?” を入力する。設定値が表示される。(n: レジスタ番号)

レジスタ	機能	初期値	設定範囲
S3	CR キャラクタコードの設定	13	13 のみ
S4	LF キャラクタコードの設定	10	10 のみ
S5	BS キャラクタコードの設定	8	8 のみ

■ リザルトコード一覧

数字	文字	説明
0	OK	コマンドを正常完了
1	CONNECT	相手モデムと接続
3	NO CARRIER	キャリアが検出できない
4	ERROR	コマンドエラー
29	DELAYED	発呼規制中